

第2号議案

電源接続案件募集プロセス福島県相馬エリアにおける
すべての応募者が連系可能な増強工事案の妥当性について
(通知予定日：平成28年9月30日)

(案)

一般送配電事業者主宰の福島県相馬エリアにおける電源接続案件募集プロセスにおいて応募容量が募集容量を超過したため、同事業者が提示するすべての応募者が連系可能な増強工事案の内容について、下表のとおり、妥当性を確認したのでその旨通知する。

なお、本案件は、平成28年4月1日変更以前の送配電等業務指針第76条に基づき、発電設備等系統連系希望者から東北電力株式会社に対し電源接続案件募集プロセス開始の申込みがあったことから、変更以前の送配電等業務指針に基づく手続きに準じ、本機関が妥当性確認を行うものである。

主宰者	エリア	確認項目	確認結果
東北電力	福島県相馬エリア	・系統増強規模の合理性	妥当

以上

添付：

電源接続案件募集プロセス福島県相馬エリアにおける
すべての応募者が連系可能な増強工事案の確認結果について

東北電力株式会社
ネットワークサービスセンター所長 殿

電力広域的運営推進機関
システムアクセス室長

電源接続案件募集プロセス福島県相馬エリアにおける すべての応募者が連系可能な増強工事案の確認結果について

当機関は、平成28年4月1日変更以前の送配電等業務指針第77条第3項に基づき、電源接続案件募集プロセス福島県相馬エリアにおけるすべての応募者が連系可能な増強工事案について、内容を確認、検証した結果、下記のとおり、妥当であると認めましたので、その旨を通知いたします。

記

1. 概要

- (1) 件名：電源接続案件募集プロセス福島県相馬エリアにおける
すべての応募者が連系可能な増強工事案
- (2) 受付日：平成28年9月16日

2. 妥当性の確認結果

確認項目	確認結果
システム増強規模の合理性	妥当

3. 別添資料

- (別添1) 電力広域的運営推進機関による妥当性確認の結果
- (別添2) 「すべての応募者が連系可能な増強工事」の工事内容等※
※東北電力株式会社提出の入札等の案内文書から抜粋

4. その他連絡事項

上記の妥当性の確認結果の内容等に関して、ご不明点等がありましたら、当機関のシステムアクセス室までお問い合わせください。

以上

担当：システムアクセス室 安岡
TEL：03-6632-0904
Email：access-east@occto.or.jp

電力広域的運営推進機関による妥当性確認の結果

電源接続案件募集プロセス福島県相馬エリアにおける
すべての応募者が連系可能な増強工事案の妥当性について

1 系統増強規模の合理性

項目	評価	確認内容
すべての応募者が連系可能な対策であるか	○	すべての応募者（32.25 万 kW）を連系することができる対策（+33.6 万 kW）となっており、妥当
工事費および工期は、妥当か	○	すべての応募者が連系可能な増強工事案の工事費および工期の算定について、当機関で用いている検証データと比較して、大きな乖離がないことを確認し、妥当

別紙1-1 「すべての応募者が連系可能な増強工事」の工事内容等

1 工事名称

154kV送電線新設工事（東福島(変)～新駒線間，2回線）
東福島変電所 154kV送電線引出工事（2回線）

2 工事費総額

約138億円（税抜）※1※2※3

※1 国の「発電設備の設置に伴う電力系統の増強及び事業者の費用負担等の在り方に関する指針」（平成27年11月6日、資源エネルギー庁。以下「費用負担ガイドライン」といいます。）に基づく費用負担ルール（以下「新費用負担ルール」といいます。）における算定額は、特定負担：約127.8億円、一般負担（託送料金を通じて広く系統利用者が負担する費用）※3：約10.2億円です。

※2 費用負担ガイドライン公表前の費用負担ルール（以下「旧費用負担ルール」といいます。）においては、FIT電源の場合、原則として、工事費総額が特定負担となります。

※3 一般負担額のうち、「ネットワークに接続する発電設備の規模に照らして著しく多額」と判断される基準額として広域機関が指定する額（以下「一般負担の上限額」といいます。）を超過する額については、特定負担となります（募集要領 別紙7参照）。

3 工事完了予定時期※4

電源接続案件募集プロセス完了時から約11年後（平成40年1月頃目途）

※4 実際の工事完了時期は、募集スケジュール、対策工事に伴う用地交渉等により、当初の予定から変動する可能性があります。

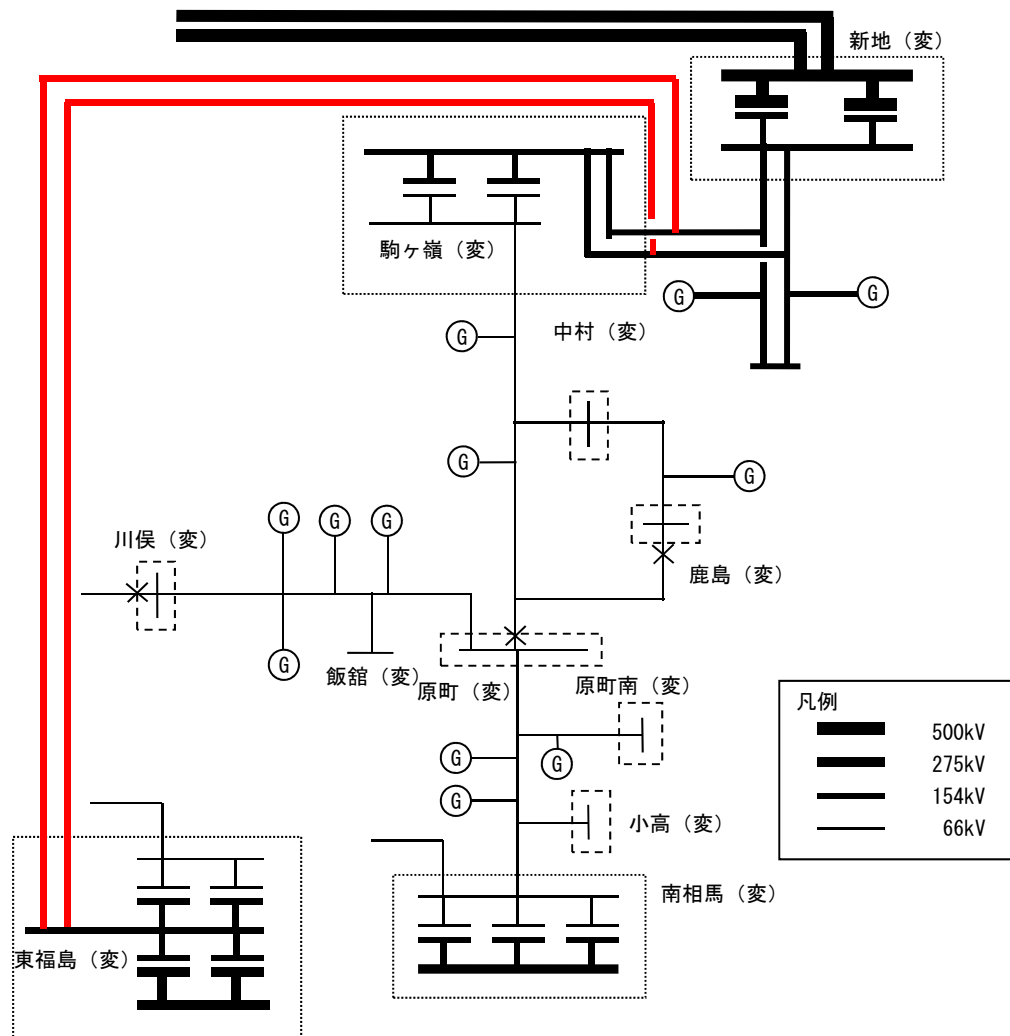
4 対策工事による効果

対象設備の系統連系可能容量が約33.6万kW増加
（すべての応募者（32.25万kW）が連系可能）

5 対策工事内容

設備区分	項目	新設	建替・張替・ 取替	改造・改修	備考（設備機器・材料 の仕様、工事方法等）
架空線	支持物（鉄塔）	136基	4基	1基	
	電線	37.0km	km	km	SBTACSR/EAC780mm ²
変電設備	引出設備	2回線	回線	回線	
	変圧器	台	台	台	
	保護継電装置	1式	式	式	
給電設備	システム改修	式	式	式	
通信設備	通信装置	式	式	式	
	自動検針装置	式	式	式	

6 工事概要図



7 入札の成立条件等

○ 「すべての応募者が連系可能な増強工事」に申し込む場合の最低入札負担金単価は次のとおりです。

- ・新費用負担ルール適用者 39,700円/kW (=127.8億円/32.25万kW)
- ・旧費用負担ルール適用者 42,800円/kW (=138.0億円/32.25万kW)

○ 「すべての応募者が連系可能な増強工事」の成立条件は、次のとおりです。(募集要領2.5(3)、別紙6参照)

$$\text{①} + \text{②} \geq 138 \text{ 億円}$$

- (①: 「入札負担金単価×最大受電電力」の合計
 ②: 「新費用負担ルール適用者の一般負担単価 × 最大受電電力」の合計)